



駒澤大学
第2回 学生シンポジウム

ご挨拶

せっかく一つのキャンパスに多彩な学部が集まる駒澤大学だからこそ、学部や研究分野を超えて意見交換をおこないたい・・・この学生シンポジウムはそんな私たち駒大生の希望から始まりました。

昨年の成功を受けて、今年の第2回シンポジウムも総勢200人以上の学生が参加を表明しています。今年は、学校公認のイベントとしてさらに新しい学部やゼミの参加を得て準備を重ねてきました。

是非、当日は駒澤大学生が交わす激論を楽しんでいただき、一緒に討論に参加していただければ幸いです。すべての運営は、私たち学生が担当しております。そのため、気がつかずにいることもあろうかと思えます。何かわからないことがございましたら、当日スーツを着用している運営スタッフが対応させていただきますので是非お声をおかけください。

駒澤大学「学生シンポジウム」担当：経済学部4年 尾関佑太

趣旨

私たちが「学生シンポジウム」を開催する趣旨は大きく分けて2つです。

第1に学生として自分たちの研究を深めつつ、様々な学問分野に対する教養を身に付けることです。近年の複雑化している社会にあって、私たち学生は他の学問に目を向けずに、自分たちが学んでいる専門分野だけに目を向けていけばよいのでしょうか。

昨年度の第1回シンポジウムにおいて、1つの社会問題を巡って経済学部と、法学部が激しく議論を交わす場面がありました。このような学生どうしの学問的な交流の機会を、1つのキャンパスに全ての学部が集まる「1キャンパス」という駒澤大学の強みを活かして、定着させたいと考え第2回目を開催しようと考えました。

第2に駒澤大学を学問という観点から盛り上げていくためです。単なる行事ごとのような一過性のものではありません。学問の追求を行う大学という機関が求めることを具現化したようなこの試みが、今後5年、10年と続いていけば1歩ずつでも大学生の学問への取り組みは改善に繋がるでしょう。何よりも学生が主体となり、大学側と連携をとって学校を盛り上げていくこの姿こそ、世間が大学、そして学生に求める「在るべき姿」だと私たちは考えました。

今年度学生シンポジウムは大学から認められた正式なものとなりましたが、このイベントを定着させられるかどうかは、この第2回目にかかっていると言えます。上記の理由から私たちは今年度も全学部規模の「学生シンポジウム」の開催を考えました。

Program

【日程】 2016年11月20日（日）

【時間】 11：00～ 開場及び受付開始時間

12：30～ 開会式

13：00～ 発表開始時間

【場所】 開会式：（9号館 -391）

発表場所：（9号館 - 170,173,177,179,280,283,287,289）

【受付場所】（時間によって異なります）

9号館 -392 教場（11：00 から 12：30）

9号館 1階入り口前（12時30分から17時20分）

各分科会のテーマ

「持続可能な地域づくり」「グローバル化の未来」「マーケティングを考える」「格差と貧困」

「企業と労働者」「新技術と日本経済」「共生社会への模索」「日本の経済と政治」

◇ 参加団体

ボランティアサークル(STUDY FOR TWO)、GMS 学部(テヅカゼミ、山口ゼミ)
経済学部(明石ゼミ、姉齒ゼミ、江口ゼミ、小西ゼミ、増田ゼミ、中済ゼミ、長山ゼミ、百田ゼミ、深見ゼミ、福島ゼミ、堀内ゼミ、宮田ゼミ)、法学部(浦田ゼミ、富崎ゼミ、山崎ゼミ)経営学部(鹿嶋ゼミ、中野ゼミ)、仏教学部(Nirvāṇa)

◇ タイムスケジュール

時間	内容	場所
12：30	開会式	(9号館-391)
13：00～13：35	1 チーム目：発表・質疑応答	9号館 170,173,177,179 280,283,287,289
13：45～14：20	2 チーム目〃	
14：30～15：05	3 チーム目〃	
15：15～15：50	4 チーム目〃	
16：00～16：35	5 チーム目〃	
16：45～17：20	6 チーム目〃	
17：40～18：40	懇親会	学生食堂 1階
18：40～19：00	閉会式	

※発表時間は20分、質疑応答は15分、計35分となります。

※質疑応答終了毎に10分間の休憩をはさみます。

◇ 会場説明



◇ 9号館内会場配置

9号館1階	9-177 「マーケティングを考える」	9-176 「運営控室A」	階段	WC	9-170 「グローバル化の未来」
	廊下				
	9-179 「企業と労働者」	9-178 「運営控室B」	入口 受付	EV	9-173 「持続可能な地域づくり」
9号館2階	9-287 「共生社会への模索」	9-286 「運営控室C」	階段	WC	9-280 「新技術と日本経済」
	廊下				
	9-289 「日本の経済と政治」	9-288 「運営控室D」	インフォメーション	EV	9-283 「格差と貧困」

分科会テーマ目次

「グローバル化の未来」	5
「持続可能な地域づくり」	7
「マーケティングを考える」	9
「企業と労働者」	11
「新技術と日本経済」	13
「格差と貧困」	15
「共生社会への模索」	17
「日本の経済と政治」	19

「グローバル化の未来」

教場：9-170

代表：田中勇也（姉齒ゼミ）

時間、	内容
13：00～13：35	経済学部 姉齒ゼミ
13：45～14：20	STUDY FOR TWO 駒沢支部
14：30～15：05	GMS 学部 テヅカゼミ
15：15～15：50	法学部 山崎ゼミ
16：00～16：35	経済学部 小西ゼミ
16：45～17：20	経済学部 福島ゼミ

◇ 各ゼミ趣意文（要約）

チーム名	研究テーマ
姉齒ゼミ 金融班	金融のグローバル化について
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>金融のグローバル化とは国境を超えた。一方で、アジア通貨危機やリーマンショックなどの金融危機にみられるように、マネーの自由な移動は世界全体を巻き込むリスクを伴うものであることを我々に気づかせた。ここでは金融のグローバル化によって発生した金融危機やこれに伴う金融政策を検証していく。</p>	

チーム名	研究テーマ
STUDY FOR TWO 駒沢支部	ラオスでの就学と日本の大学生
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>現在ラオスでは中学校への純就学率が半分未満で、小学校も4人に1人が卒業できていない。一方私たち日本の大学生においても習学の為の費用は上がっている。そんなラオスの子どもたちと日本の大学生を相互に援助の活動を通して見えた双方の問題とそれを解決する為の今後の活動方針について考える。</p>	

チーム名	研究テーマ
テツカゼミ：グローバル	グローバル人材
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>グローバル化に伴って大学では人材育成のためのグローバル学部等が次々と創設されている中で、グローバル人材の役割とその育成にはメリットがあるのだろうか。グローバルという単語に求めるもの、抱くイメージについて本学部に入学してきた1年生たちへのアンケートからグローバル人材の実際とイメージとのギャップを解き明かしたい。</p>	

チーム名	研究テーマ
山崎ゼミ 多国籍企業班	多国籍化する企業への政府の対応と、労働者の行方
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>今日貧困国では、巨大化した多国籍企業が先進国よりも安価な人件費で国民を雇用し労働させており、日本においても大企業を優遇するような政策を取り入れている。我々の班は日本の政府・(多国籍)企業・労働者という三つの観点から、今後多国籍化する企業・政府の政策・労働者がどのような変化を遂げていくのかを研究する。</p>	

チーム名	研究テーマ
小西ゼミ フィンテック班	仮想通貨の未来
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>我々は、ビットコインの仕組みを理解し、仮想通貨を現実のビジネスに活用し、決済インフラとして動かしていくために、解決しなければならない様々な問題について研究を進めていきたい</p>	

チーム名	研究テーマ
福島ゼミ 福島ゼミ①	日本の「ラテンアメリカ化」を防ぐために
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>日本は「失われた10年」と呼ばれる長期低迷と経済的困難を経験した。またラテンアメリカも同じく「失われた10年」を日本よりも先に経験している。社会経済状況や原因は必ずしも同一の現象というわけではないが、共通する側面が存在していたことを見逃してはいけない。</p> <p>日本の「ラテンアメリカ化」を防ぐには、コミュニティを基礎におく産業の構造を創り、新たな日本的システムを考える必要があるのではないだろうか。</p>	

「持続可能な地域づくり」

教場：9-173

代表者：内山瑛美（姉齒ゼミ）

時間	内容
13：00～13：35	経済学部 明石ゼミ
13：45～14：20	経済学部 増田ゼミ
14：30～15：05	経済学部 長山ゼミ
15：15～15：50	経営学部 中野ゼミ
16：00～16：35	経済学部 姉齒ゼミ

◇ 各ゼミ趣意文（要約）

チーム名	研究テーマ
明石ゼミ 明石先生の子分たち	里山
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>現在、日本中に過疎化が進む地域が増加している。里山は荒れ、少子高齢化により、地域の繋がりが薄れている現状である。地域のコミュニティーや日本中の里山資源・人材を活かした里山ビジネスに光を当て、地域の個性を生かし、地域を自立させることで、日本の安定した持続可能な経済モデルを考える。</p>	

チーム名	研究テーマ
増田ゼミ 地方創生班	地方創生から考える日本経済への影響
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>今日、日本は人口減少社会に突入し、人口減少は日本経済の衰退を引き起こすと考えられる。そこで、地方創生がそれらの問題を解決する手段になると考え、地方への人口集中や移民の受け入れ、女性の労働参加の三つの事柄に注目した。それらが与える労働生産性や消費への影響を分析し、地方創生へどのように繋がるかを検証する。</p>	

チーム名	研究テーマ
長山ゼミ	都市と農村との連携と交流
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>日本は高齢化、東京一極集中が進んでいる。中山間地域、農村地域では過疎化が進んでいるがこれ以上の過疎化を食い止めるため、中山間地域での林業、移住起業家による地域の活性化などの可能性を探る。また、中山間地域のことだけを考えるのではなく都市のことも考える必要がある。そこで、都市と農村、中山間地域の交流を増やし中山間地域の賑わいを取り戻すことも考える。</p>	

チーム名	研究テーマ
中野ゼミ 2年C班	五感に働きかけるマーケティング
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>五感マーケティングは近年、企業のマーケティング活動に不可欠なものになっています。視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の五感からマーケティング戦略への示唆を探っていきます。その中でも、過去を懐かしく思う感情を利用したノスタルジア・マーケティングを中心に研究をしていきます。</p>	

チーム名	研究テーマ
姉齒ゼミ 地域班	地域活性化
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>高齢化率が50%以上である新潟県佐渡市羽茂大崎地区の集落活性化事業への採択を受けて行った。現地調査を通じて「持続的な地域」や「集落の人々が住み良い地域」を作ること考えた。地域住民が主体性を持って取り組めるような地域活性化策を提案し、「限界集落」と称される集落の真の捉え方について意見を述べていきたい。</p>	

「マーケティングを考える」

教場：9-177

代表者：丸山洸太（小西ゼミ）

時間	内容
13：00～13：35	経営学部 中野ゼミ
13：45～14：20	経済学部 小西ゼミ
14：30～15：05	経済学部 明石ゼミ
15：15～15：50	経済学部 深見ゼミ
16：00～16：35	経済学部 百田ゼミ

◇ 各ゼミ趣意文（要約）

チーム名	研究テーマ
中野ゼミ 2年A班	オリンピックを盛り上げる
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>「マイナー競技を盛り上げるにはどうすれば良いか」という研究目的を持ち、マイナー競技はメジャー競技に比べ日常生活において触れる頻度が圧倒的に少ないことが分かった。そこで、「単純接触効果」により、「フリークエンシーの値が高いほど、そのスポーツに対する好感度・関心度は上がるのではないか」という仮説を立て、検証する。</p>	

チーム名	研究テーマ
小西ゼミ SNS ソフトウェア	SNS 業界の比較、変化
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>現代日本では SNS は社会の一部となり生活には欠かせないツールだが、多くのサービスが存在し、SNS 市場は利用率、満足度、売上等により衰退、発展、新規参入が起こっている。かつては独占状態にあったにも関わらずなぜ衰退してしまうのか、なぜ新規参入するのかこれらを2つの経済的な理論から SNS 間の比較、変化と今後の SNS 業界の予測とともに考えていく。</p>	

チーム名	研究テーマ
明石ゼミ 25 班	商店街を通して見る消費者と地域の関わり
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>現在、全国には約 3 万の商店街があるが、現状はその約 4 割がシャッター街となっている。今発表では全国の商店街が抱える問題点を整理するとともに、身近な商店街を取材し問題についてより理解を深める。また取材から見えた大型店にはない商店街の良さについて考え、問題に対する具体的な解決策を研究する。</p>	

チーム名	研究テーマ
深見ゼミ②	21 世紀の地場証券ビジネスモデルについて
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>21 世紀の地方、独立系証券会社(地場証券)は、最近では地方の人口減少等を背景とした経営に対するインターネット等の IT 革命に伴うネット証券の参入等による証券ビジネス自体の構造的変化に加え、課題も新たに生じている。これらの問題に対してどのようなビジネスモデルを提示すればこれを解決できるか議論していきたい。</p>	

チーム名	研究テーマ
百田ゼミ 1	21 世紀の企業
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>21 世紀の各業界の推移などを現状課題から過去の成功例から読み取り提案する。業界としてはまだ確定していないが、3 つほど用意したいと思う。これから就職活動を向かえる身として、様々な業種、業界に触れておくことは大切な準備となると思いこのような形にした。</p>	

「企業と労働者」

教場：9-179

代表者：好宏志（小西ゼミ）

時間	内容
13：00～13：35	GMS 学部 山口ゼミ
13：45～14：20	経営学部 鹿嶋ゼミ
14：30～15：05	経済学部 宮田ゼミ
15：15～15：50	経済学部 小西ゼミ
16：00～16：35	経済学部 明石ゼミ
16：45～17：20	経済学部 百田ゼミ

◇ 各ゼミ趣意文（要約）

チーム名	研究テーマ
山口ゼミ 山口ゼミⅡ	日本のコンテンツ産業の問題と今後
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>現在日本のコンテンツ産業にはいくつかの問題点があり、今までにも問題視されてきたが明確な解決策は未だ確立されておらず、現状は変わらないままである。</p> <p>また海外に日本のアニメが進出したことによって、日本のコンテンツ産業の抱える問題は増える一方である。日本のコンテンツ産業が廃れてしまうのを防ぐために、今後どうアプローチしていくべきか論ずる。</p>	

チーム名	研究テーマ
鹿嶋ゼミ A 班	若者の早期離職問題
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>入社から3年以内に離職してしまう現象が起きており、これを七五三問題という。</p> <p>企業は優秀な人材を集めたにもかかわらず、その人たちが離職してしまう問題に対し、企業はどういった対策をとっているのかを中心に様々な企業の例を挙げ、研究していく。そして若者の早期離職防止に繋げていきたい。</p>	

チーム名	研究テーマ
宮田ゼミ 雇用班	ブラック企業の拡大について ～なぜ労働環境の劣化が進行するのか～
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>近年、いわゆる「ブラック企業」の存在が問題視されている。いまでは、「ブラックバイト」も蔓延化し、学生や若者などにも過重労働や低賃金等が強いられている。このような「ブラック企業」はなぜ増え続けるのか、また非正規雇用の増大等に代表されるように、広く資本主義社会ではなぜ労働環境の劣化が進行するのかについて明らかにする。</p>	

チーム名	研究テーマ
小西ゼミ 産業クラスター	産業クラスターの分析
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>地域的に産業が集積し、輸送コストの削減などのメリットがある「産業集積」、同じく1つの地域に産業が集積している「産業クラスター」。この産業クラスターについて、幾つかの参考文献を元に産業クラスターの仕組みや、産業クラスターを説明できる具体的な理論を理解し、シリコンバレーの事例を中心に研究を進めています。</p>	

チーム名	研究テーマ
明石ゼミ ブラック∞	ブラックバイト
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>学生に身近なアルバイトであるが、近年は悪質な労働環境を強いられるブラックバイトが横行しており、実はもっと身近で起きている問題なのである。ブラックバイト問題の背景にある家庭の貧困化やアルバイトの労働の変化を通してブラックバイトの本質を探り、巻き込まれないようにする解決策を考える。</p>	

チーム名	研究テーマ
百田ゼミ 2	企業と CSR
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>21 世紀の日本の現状を様々なテーマ別に分析して、これからの日本の未来と部分を論じておく、テーマとはおおよそ3ほど準備する予定である。角度の違うテーマからあらゆる日本の将来を予測し、またその結果について、議論することこそ大事だと思う。答えを教えるという文化がある日本の中で自ら答えを出す訓練も兼ねている。</p>	

「新技術と日本経済」

教場：9-280

代表者：勝木美帆（中野ゼミ）

時間	内容
13：00～13：35	GMS 学部 山口ゼミ
13：45～14：20	経営学部 中野ゼミ
14：30～15：05	経済学部 小西ゼミ
15：15～15：50	経営学部 鹿嶋ゼミ
16：00～16：35	経済学部 堀内ゼミ
16：45～17：20	法学部 浦田ゼミ

◇ 各ゼミ趣意文（要約）

チーム名	研究テーマ
山口ゼミ I	クールジャパン（日本食）
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>①日本が発見した第6の味覚「うまみ」</p> <p>②B級グルメの海外における戦略・アプローチ方法の研究</p> <p>③海外に進出している日本のフード企業のように海外で成功している企業のマネジメント方法の研究 をベースに進めていく予定である。</p>	

チーム名	研究テーマ
中野ゼミ 2年B班	五感に働きかけるマーケティング
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>今回取り組んでいるテーマは「五感に働きかけるマーケティング」であり、感覚マーケティングの中の無意識化における視覚と聴覚に訴求するマーケティングについて研究している。現在はこれまでにある感覚マーケティングを調べ、そこからヒントを得て現代における感覚マーケティングの在り方織り交ぜながら新たな五感に働きかけるマーケティングを研究していきたい。</p>	

チーム名	研究テーマ
小西ゼミ IOT 班	IOT における戦略的提携論
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>IOT とは、モノとインターネットを接続することを意味する。例えば自動車の IOT 開発が進めば自動運転すらも可能になる。このような車はコネクテッド・カーと呼ばれている。戦略提携論を用いて、自動車における IOT の結びつきを述べる。</p>	

チーム名	研究テーマ
鹿嶋ゼミ 人工知能係 B 班	人工知能による働き方の変化
<p>凄まじい速度で成長し広まっていく人工知能と、人の働き方について、「そもそも人工知能ってなに」、「一体どのような仕事が減り、どのような仕事が増えてくるのか」、「人から AI に代わった時に起こる問題とは」の三点を中心に研究していきます！</p>	

チーム名	研究テーマ
堀内ゼミ 経済成長班	日本の経済成長
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>本グループでは、日本社会の経済成長をテーマとして、グローバル、金融、景気、技術革新、貿易・文化を小見出しに考え、研究を進める。その中でも歴史的背景に、着目しながらいま現在の日本社会の経済成長について深く追求していく。</p>	

チーム名	研究テーマ
浦田ゼミ	発展する技術とそれに対応する政治
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>昨今の日本において IoT (Internet of Thing) ・車の自動運転・ドローンをはじめとした新しいテクノロジーがすさまじい速度で民間へ普及を始めている。その新しいテクノロジーに対して千葉市は規制よりも受け入れる姿勢を強く見せた。国家戦略特区と呼ばれる地域においてドローンでの配達を可能にするほかにも、日本には政府単位でテクノロジーを受け入れようとしている地方が多く存在している。このような受け入れの動きも含め、新たなテクノロジーに対してどのような法整備が必要かを研究していく。</p> <p>そして、諸外国はどのような法規制を敷き、さらにはどのように新しいテクノロジーを活用していこうとしているのか、そして日本と諸外国においてどのような法整備が必要とされているかを検証していきたい。</p>	

「格差と貧困」

教場：9-283

代表者：波多野聖峻（堀内ゼミ）

時間	内容
13：00～13：35	経済学部 江口ゼミ
13：45～14：20	法学部 山崎ゼミ
14：30～15：05	経営学部 鹿嶋ゼミ
15：15～15：50	経済学部 宮田ゼミ
16：00～16：35	仏教学部 Nirvāṇa
16：45～17：20	経済学部 堀内ゼミ

◇ 各ゼミ趣意文（要約）

チーム名	研究テーマ
江口ゼミ 世代内格差	世代内格差
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>1980年代まで貧富の差がほとんどなく一億総中流と言われていた時代は終わり現在では収入や財産によって階層化が生じている。その主な原因として挙げられる正規、非正規雇用の賃金差や失業率の問題、失業率と相関関係にある犯罪率の問題などをどのようにして改善、解決していくことができるのか学んでいきたい。</p>	

チーム名	研究テーマ
山崎ゼミ 若者の貧困問題班	若者の貧困と世代関連鎖
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>昨今、若年層の生活水準の低下が問題視されており、正規雇用にもありつけない人が数多くいる。将来を担保として大学時代に多額の奨学金を借りたが、現在返済に困窮している人も多い。その一方で、貧困世帯で育った人のなかには、犯罪に手を染めたり路上生活に落ちたりしている現状が都市部を中心に今尚ある。若者を「貧困の連鎖」から救う手だてを考える必要があるだろう。</p>	

チーム名	研究テーマ
鹿嶋ゼミ D班	女性労働の国際比較について
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>日本は男性中心の労働環境のため、女性が活躍しにくく少子化が深刻であり、また、女性はパートなど非正規雇用が多く、正社員でも育休が取りにくい。さらに、職場環境の時短勤務への理解が少ないといった現状がある。</p> <p>国際比較をするため、欧米の女性労働についての関連する書籍や資料を読み込み、日本の女性労働について考え、ここから日本が真似るべきところや日本に合った独自の改善策を考え、今後どうやったら女性労働者がより活躍していけるかを考える。</p>	

チーム名	研究テーマ
仏教 Nirvāṇa	現代日本人の諸問題と仏教
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>現代の日本の仏教は葬式仏教と揶揄されるように、仏教の考えが根ざしているとは言い難い。仏教は元来、苦しみから脱するための教理と実践の体系である。そこで、現代の日本人が抱える諸問題の考察を行い、それらに対する仏教的解釈を提案する。</p>	

チーム名	研究テーマ
堀内ゼミ 労働問題班	労働問題と格差問題
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>少子高齢化問題は労働人口の減少や地域格差の拡大を引き起こしている。また、現在企業は人件費削減のために正規雇用を少なくし、非正規雇用で採用する傾向があるが正社員とアルバイトの年収の差は大きく、格差問題を招いている。我々はこのような労働に関する問題を検証し、どう対策を練るべきかを明らかにしていきたい。</p>	

「共生社会への模索」

教場：9-287

代表者：佐々木蒼一郎（姉齒ゼミ）

時間	内容
13：00～13：35	経営学部 鹿嶋ゼミ
13：45～14：20	経済学部 姉齒ゼミ
14：30～15：05	経済学部 福島ゼミ
15：15～15：50	経済学部 江口ゼミ
16：00～16：35	法学部 山崎ゼミ
16：45～17：20	法学部 富崎ゼミ

◇ 各ゼミ趣意文（要約）

チーム名	研究テーマ
鹿嶋ゼミ C班	セクハラの現状と対策
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>セクハラは現在どこからがセクハラでどこまでがセーフなのかが不明確であり、女性がセクハラだと訴えれば99%セクハラになってしまう社会である。最近ではパワハラ、モラハラなどという言葉が出てくるほどである。セクハラについて議論することはかなり難しいところもあると思うが、しっかり突き詰めていきたい。</p>	

チーム名	研究テーマ
姉齒ゼミ 労働問題班	食育調査から見えてきた労働問題
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>姉齒ゼミでは食育調査を行ってきた。しかし食育の効果は家庭における食生活には上手く反映されていない。統計調査で判明したことは、親の労働時間の長時間化による食育への影響である。この問題は今後ますます深刻化し、子供たちの生活環境を悪化させていくと考えられる。「食育調査から見えてきた労働問題」を軸に「私達をとりまく生活」についてみていく。</p>	

チーム名	研究テーマ
福島ゼミ 福島ゼミ②	日本の「ラテンアメリカ化」を防ぐために
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>日本は「失われた10年」を経験したがラテンアメリカは日本よりも先に経験している。原因は必ずしも同一ではないが、共通する側面が存在していたことを見逃してはいけな。日本の「ラテンアメリカ化」を防ぐには、コミュニティを基礎におく産業の構造を創り、新たな日本的システムを考える必要があるのではないだろうか。</p>	

チーム名	研究テーマ
江口ゼミ 世代間格差	世代間格差
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>世代間格差は、例えば世代によって年金の負担額や給付額に差が生じる問題。日本の財政赤字を将来へ持ち越すことによって将来世代への負担を重くする問題などが挙げられる。我々は現在の年金制度による世代間格差及びその原因となる少子高齢化を主として、その現状、問題点、そして解決策を様々な角度から学んでいきたい。</p>	

チーム名	研究テーマ
山崎ゼミ 家族班	21世紀以降の家族形態
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>昨今、日本の家族形態や女性の地位などが変動しつつあり、例えば祖父母や親、子の世代に連鎖的につながっていく貧困問題も家族の形に影響を与えている。女性の地位も変化している。これらの問題について、政治や経済、その他様々な観点から21世紀の日本の家族の在り方について考えていきたいと思う。</p>	

チーム名	研究テーマ
富崎ゼミ	イギリスのEU離脱について
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>今年の6月23日に国民投票の結果、イギリスがEUを離脱したことは皆さん記憶に新しい。しかしそれによって日本が受ける影響までを考えている人は意外にも少ない。おおよそ10000km離れた国ではあるが、例えば、日本の対イギリスの投資額は1兆7000億にも上る。我々は、イギリスのEU離脱について、その原因の部分から日本へ与える打撃、世界的な影響までを考察し、発表しようと考えている。</p>	

「日本の経済と政治」

教場：9-289

代表者：磐田梨緒（深見ゼミ）

時間	内容
13：00～13：35	法学部 山崎ゼミ
13：45～14：20	経済学部 宮田ゼミ
14：30～15：05	経済学部 深見ゼミ
15：15～15：50	経済学部 堀内ゼミ
16：00～16：35	経済学部 江口ゼミ

◇ 各ゼミ趣意文（要約）

チーム名	研究テーマ
山崎ゼミ 安全保障班	21世紀における日本の安全保障政策
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>昨今、日本を取り巻く安全保障環境が変化している。これに伴い、政府は日米同盟の強化に基づく安全保障政策を転換させた。その結果、今年度は任務の幅が広がり、我が国の防衛費が初めて5兆円を突破した。これら安全保障に関する趨勢が我々の生活に如何なる影響を与えるのか、といった点を考察していきたい。</p>	

チーム名	研究テーマ
宮田ゼミ 金融・財政班	日銀の金融緩和をどう評価するか
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>アベノミクスの政策の中心として、日銀による異次元緩和政策がある。しかし、2013年こそ、実質GDP成長率が1.5%に上昇したものの、それ以降は低下し続けている。また、実質賃金も4年連続で低下しており、アベノミクスの限界が現れている。そこで我々は、アベノミクスの現状を分析したうえで、日銀による異次元緩和について改めて検討する。</p>	

チーム名	研究テーマ
深見ゼミ 深見ゼミ①	これからの日本の証券市場について
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>現在、日本の証券流通市場は個人投資家の参入が少ないことが指摘されている。これを改善するには、コーポレートガバナンスを改善し、「物言わぬ株主」から「物言う株主」へと変化させることや、投資信託にも興味を持ってもらうなどが必要なのではないだろうか。</p>	

チーム名	研究テーマ
堀内ゼミ アベノミクス班	大胆な金融政策の分析
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>2012 年末に誕生した安倍政権による経済政策である、アベノミクス。あれから 3 年以上が経つ今、私たちにどのように影響したのか、はたまた問題点はなんだったのか「大胆な金融政策」を主にベースマネーとマネーストックの関係など様々な視点から総括していく。</p>	

チーム名	研究テーマ
江口ゼミ 景気対策班	景気対策
<p>〈研究テーマについての趣意文〉</p> <p>イギリスの EU 脱退から日本の輸出産業は多大なダメージを負った。その影響から日本の景気が悪化すると考えられるため、安倍政権による政策がより一層重要となっていく。私たちはアベノミクスを中心に金融政策、財政政策、成長戦略を研究・検討・発表し、今の日本がすべき最善の方法を見つけたい。</p>	

主催：経済学部ゼミナール連合会
後援：駒澤大学 学長、教務部長、経済学部、経済学部同窓会
お問い合わせ先

【運営代表】

尾関佑太（経済学部 商学科 4年生、ER3208）

E-mail : 1er3208o@komazawa-u.ac.jp

議長ゼミ指導教員 明石英人

研究室 : 03-3418-9360

E-mail : sd0206@komazawa-u.ac.jp

経済学部長 姉齒 暁

研究室 : 03-3418-9304

E-mail : aneha@komazawa-u.ac.jp